

乳がん手術を受けられた患者さんの

情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 乳がん手術における鎮痛法が術後疼痛と嘔気・嘔吐に与える影響

[当院の研究責任者] 麻酔科 趙 成三

[研究の背景]

乳がん手術では、術後鎮痛目的でオピオイドの持続静脈注射＋patient controlled analgesia (PCA) が用いられてきたが、術後の嘔気・嘔吐などの副作用が問題となる。近年、末梢神経ブロックを用いた術後疼痛管理が多く報告されてきており、当院でも採用している。

[研究の目的]

当院で行った鎮痛法の違いが、術後疼痛と嘔気・嘔吐に与える影響を検討することで、より安全な患者管理に寄与できると考える。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2017 年 4 月から 2021 年 3 月までに小倉医療センターで乳がん手術を受けられた患者さん

●研究期間：西暦 2021 年 6 月 1 日から西暦 2021 年 12 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報、服薬情報、麻酔方法、術後鎮痛薬の投与状況、嘔気・嘔吐、食事摂取状況の調査

●検体や情報の管理

検体や情報は当院のみで利用します。

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者である麻酔科 趙 成三が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

麻酔科 趙 成三

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号

電話 093-921-8881